



2017年12月19日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
代 表 者 名 取締役社長 竹内 章
(コード番号 5711 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部広報室長 鈴木 信行
(電話番号 03-5252-5206)

当社子会社における不適合品への対応の進捗状況について ②

当社連結子会社である三菱電線工業株式会社（以下「電線社」）および三菱伸銅株式会社（以下「伸銅社」）が、データの書き換え等の不適切な行為によりお客様の規格値または社内仕様値を逸脱した製品等（以下「不適合品」）を出荷した事実（以下「本件事案」）につきましては、お客様、株主様をはじめ、関係各位に多大なるご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

本件事案につきましては、去る12月1日に進捗状況をご報告しておりましたが、このたび電線社において不適合品に関する新たな事案が判明しましたので、ご報告いたします。

また、当社の全工場および子会社（品質問題について公表済みの子会社を除く）を対象に実施した品質コンプライアンスに関する臨時調査の結果等につきましてもご報告いたします。

記

1. 電線社における本件事案への対応状況について

1) 平角マグネットワイヤ（電線社商品名「メクセル」）

2017年12月12日に、メクセルにおいてデータの書き換えがあった疑いがあるとの報告を受け、2016年12月1日から2017年11月30日までの一年間に出荷した製品に関する実態調査を実施いたしました。その結果、被膜の厚さ等の寸法に関するデータを書き換えていた可能性のある製品43ロット（当該期間の当該製品の売上高784百万円に占める割合約1%）とその出荷先であるお客様5社を特定しました。特定された全てのお客様に対して既にご連絡を完了し、お客様のご協力をいただきながら安全性の確認を進めております。

なお、12月13日以降に出荷されたメクセルについては、全て適合品であることを確認しております。

また、実態調査により、お客様との取り決め範囲ではありませんが、メクセルに関する検査データの一部異常値の取扱いについて、お客様との確認が必要と思われる事項があることが判明しました。こちらにつきましても、今後お客様との確認を進めてまいります。

2) シール材

11月23日時点で確認していた不適合品を出荷した可能性のあるお客様229社にはご連絡を行い、お客様のご協力をいただきながら、安全性の確認を進めております。

しかしながら、11月25日に、検査の一部を実施していない行為（以下「一部検査不実施」）による不適合品を出荷したお客様の範囲が広がる可能性があることが分かりました。

そのため、現在、確認対象期間（2015年4月1日～2017年9月30日）に出荷された全シール材約21,400アイテムとその出荷先であるお客様462社(前述の229社のお客様を含む)を対象に、改めて一部検査不実施の内容を確認し、不適合品とその出荷先であるお客様の特定作業を進めております。

12月18日時点における特定作業の進捗率は全アイテムの約90%であり、一部検査不実施による不適合品を出荷した可能性のあるお客様は約230社であります。特定できたお客様とは、お客様のご協力をいただきながら安全性の確認を進めております。当該特定作業は本年12月末の完了を目指し、作業を進めております。

なお、11月23日時点で確認していた不適合品を出荷した可能性のあるお客様と一部検査不実施による不適合品を出荷した可能性のあるお客様には重複がございます。

また、11月27日以降に出荷されたシール材については、全て適合品であることを確認して出荷しております。

本件事案を早期に解決するべく、当社グループ社員および社外スタッフ（合計約80名）を電線社箕島製作所へ派遣し、支援を行っております。

2. 伸銅社における安全性確認について

伸銅社では、2016年10月18日から2017年10月17日までの1年間にデータの書き換え等による不適合品を出荷した可能性のある全てのお客様に対して、既にご連絡を完了し、お客様のご協力をいただきながら安全性の確認を進めております。

12月18日現在の進捗状況は、次の通りです。

| 製品 | お客様数 | A | B | C | D |
|----------|------|---|----|---|----|
| 黄銅条・銅条製品 | 29 | 6 | 11 | 0 | 12 |

(注) 安全性の確認にかかる進捗状況の分類は、以下の通りです。

- A. お客様にて安全性確認を完了いただいたもの。
- B. お客様にて、当面の問題はないと判断いただいているが、更なる検証を引き続き進めていただいているもの。
- C. 伸銅社が、技術的見解から高い確度をもって安全性が推認できると判断し、お客様にお伝えしているもの。
- D. 不適合品納入の可能性がある旨の連絡をさせていただいているもの。

3. 品質コンプライアンスに関する臨時調査の結果について

当社は、品質コンプライアンスに関する臨時調査として、書面調査の実施および臨時の内部通報窓口の設置を行いました。本臨時調査の結果は次の通りです。

1) 書面調査

今般、2017年11月2日に直近2年間を対象期間として、当社の全工場および子会社（品質問題について公表済みの子会社を除く）に対して、書面による調査を実施しました。その結果、新たに確認された品質コンプライアンス事案は11件となっております（内訳：当社

製造拠点 8 件、子会社 3 件)。

当該 11 件の内容は、工程変更手続きの遅れおよび漏れ、測定方法・分析手法の誤りなどがありますが、当該 11 件に係る製品の品質に問題がないことを全てのお客様にご確認いただいております。

2) 内部通報窓口への通報実績について

当社では従前より社員向けの内部通報窓口を常設しておりますが、広く従業員から情報を収集することにより調査の実効性を高めることを目的として、品質問題に特化した内部通報窓口を期間限定（2017 年 11 月 6 日～12 月 5 日）で設置したところ、1 件の内部通報がありました。本件については、通報者保護の観点から詳細の開示はできませんが、社内測定手順に関する周知が不十分であった事案であり、最終製品の品質に問題がないことを確認しております。

4. 今後の対応方針

当社は、不適合品とその出荷先であるお客様の特定作業、および製品の安全性の確認を早期に終了させるべく、引き続き電線社・伸銅社への指導・監督と必要な協力・支援を行います。

5. 業績への見通し

本件事案が当社業績に与える影響は、現時点では不明です。今後影響の程度が判明した時点で公表を行う予定です。

以 上

【問い合わせ先】

三菱マテリアル株式会社総務部広報室

TEL:03-5252-5206

三菱電線工業株式会社管理部総務人事グループ

TEL:03-3216-1551

三菱伸銅株式会社総務人事部

TEL:03-6629-5850

✍